

情報理論レポート課題 7 解答例

通信において高々 1 ビットしか誤らない場合の誤り訂正符号（通信路符号の一種）として、I) 垂直水平パリティ符号と II) ハミング符号を考える。以下の設問に答えよ。

I 垂直水平パリティ符号

(9,4) 垂直水平パリティ符号は以下のように定義される。

$$\mathbf{w} = (\mathbf{x}, \mathbf{p}) = (x_1, x_2, x_3, x_4, p_1, p_2, p_3, p_4, p_5)$$

ここで、 $\mathbf{x} = (x_1, x_2, x_3, x_4)$  は情報ビットであり、 $\mathbf{p} = (p_1, p_2, p_3, p_4, p_5)$  は次式で定義される冗長ビットである。

$$p_1 = x_1 \oplus x_2, \quad p_2 = x_3 \oplus x_4, \quad p_3 = x_1 \oplus x_3, \quad p_4 = x_2 \oplus x_4, \quad p_5 = x_1 \oplus x_2 \oplus x_3 \oplus x_4$$

1 次の系列  $x_i, 1 \leq i \leq 3$  を情報ビットとする (9,4) 垂直水平パリティ符号語  $w_i$  および復号領域  $\Omega_i$  を求めよ。

垂直水平パリティ符号の定義を、便宜上以下のように記述する。

$$\begin{array}{cc|c} x_1 & x_2 & p_1 \\ \hline x_3 & x_4 & p_2 \\ \hline p_3 & p_4 & p_5 \end{array}$$

このとき、情報ビットが“右上”の  $2 \times 2$  部分行列に記述され、冗長ビットがその周りに記述される。各冗長ビットは、対応する行または列で排他的論理和（XOR）演算することで求められる。

また、高々 1 ビット誤る場合の誤りベクトルを以下に列挙する。

$$\begin{array}{c|cccccccc} e_1 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ e_2 & 0 & 1 & 0 & & \dots & & & & 0 \\ e_3 & 0 & 0 & 1 & 0 & & & & & 0 \\ e_4 & 0 & & 0 & 1 & 0 & \ddots & & & 0 \\ e_5 & 0 & \vdots & & 0 & 1 & 0 & & & 0 \\ e_6 & 0 & & \ddots & & 0 & 1 & 0 & & 0 \\ e_7 & 0 & & \dots & & 0 & 1 & 0 & 0 & 0 \\ e_8 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 1 & 0 \\ e_9 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 1 \\ e_0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \end{array}$$

このとき、復号領域は、 $\Omega_i = \{w_i \oplus e_j \mid 0 \leq j \leq 9\}$  で求められる。

1 次の系列  $x_i, 1 \leq i \leq 3$  を情報ビットとする (9,4) 垂直水平パリティ符号語  $w_i$  および復号領域  $\Omega_i$  を求めよ。

(1)  $x_1 = 0000$

$$\begin{array}{cc|c} 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 \\ \hline 0 & 0 & 0 \end{array}$$

と記述できる。

よって、 $w_1$  と  $\Omega_1$  は次のように求められる。

$$w_1 = 0000\ 00000$$

$$\Omega_1 = \{0000\ 00000 \oplus e_j \mid 0 \leq j \leq 9\}$$

$$= \left\{ \begin{array}{l} 0000\ 00000, 1000\ 00000, 0100\ 00000, 0010\ 00000, 0001\ 00000, \\ 0000\ 10000, 0000\ 01000, 0000\ 00100, 0000\ 00010, 0000\ 00001 \end{array} \right\}$$

(2)  $x_2 = 1000$

$$\begin{array}{cc|c} 1 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 0 \\ \hline 1 & 0 & 1 \end{array}$$

と記述できる。

よって、 $w_2$  と  $\Omega_2$  は次のように求められる。

$$w_2 = 1000\ 10101$$

$$\Omega_2 = \{1000\ 10101 \oplus e_j \mid 0 \leq j \leq 9\}$$

$$= \left\{ \begin{array}{l} 1000\ 10101, 0000\ 10101, 1100\ 10101, 1010\ 10101, 1001\ 10101, \\ 1000\ 00101, 1000\ 11101, 1000\ 10001, 1000\ 10111, 1000\ 10100 \end{array} \right\}$$

(3)  $x_3 = 1001$

$$\begin{array}{cc|c} 1 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 1 \\ \hline 1 & 1 & 0 \end{array}$$

と記述できる。

よって、 $w_3$  と  $\Omega_3$  は次のように求められる。

$$w_3 = 1001\ 11110$$

$$\Omega_3 = \{1001\ 11110 \oplus e_j \mid 0 \leq j \leq 9\}$$

$$= \left\{ \begin{array}{l} 1001\ 11110, 0001\ 11110, 1101\ 11110, 1011\ 11110, 1000\ 11110, \\ 1001\ 01110, 1001\ 10110, 1001\ 11010, 1001\ 11100, 1001\ 11111 \end{array} \right\}$$

2 次の系列  $y_j, 4 \leq j \leq 6$  は、垂直水平パリティ符号の受信符号語  $y_j$  である。各受信符号  $y_j$  に対して誤りを訂正し、正しい送信符号語  $w_j$  および情報ビット  $x_j$  を求めよ。

(4)  $y_4 = 011110101$

$$\begin{array}{cc|c} 0 & 1 & 1 \\ 1 & 1 & 0 \\ \hline 1 & 0 & 1 \end{array}$$

のように記述でき、水平および垂直方向に誤りが無い。

よって、 $w_4 = y_4 = 011110101$ ,  $x_4 = 0111$  である。

(5)  $y_5 = 010011000$

$$\begin{array}{cc|c} 0 & 1 & 1 \\ 0 & \boxed{0} & \langle 1 \rangle \\ \hline 0 & \langle 0 \rangle & 0 \end{array}$$

のように記述できる。ここで、冗長ビット(検査ビット)に矛盾がある箇所を  $\langle \rangle$  で表し、誤っているビットを枠で囲で示している。

よって、左から4ビット目が誤っており、 $w_5 = y_5 \oplus e_4 = 010111000$ ,  $x_5 = 0101$  である。

(6)  $y_6 = 110100101$

$$\begin{array}{cc|c} 1 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & \langle 0 \rangle \\ \hline 1 & 0 & \boxed{\langle 1 \rangle} \end{array}$$

のように記述できる。

よって、左から6ビット目がや誤っており、 $w_6 = y_6 \oplus e_6 = 110101101$ ,  $x_6 = 1101$  である。

3 (12,6)垂直水平パリティ符号を定義せよ。

ヒント:  $2 \times 3$  の形に情報ビットを配置して、冗長ビットの定義式を求める。

$$\mathbf{w} = (\mathbf{x}, \mathbf{p}) = (x_1, x_2, x_3, x_4, x_5, x_6, p_1, p_2, p_3, p_4, p_5, p_6)$$

とする。

$$\begin{array}{ccc|c} x_1 & x_2 & x_3 & p_1 \\ x_4 & x_5 & x_6 & p_2 \\ \hline p_3 & p_4 & p_5 & p_6 \end{array}$$

と縦横に配置し、各行および各列で排他的論理和をとる。

したがって、以下のように検査ビットを定義すればよい。

$$p_1 = x_1 \oplus x_2 \oplus x_3,$$

$$p_2 = x_4 \oplus x_5 \oplus x_6,$$

$$p_3 = x_1 \oplus x_4,$$

$$p_4 = x_2 \oplus x_5,$$

$$p_5 = x_3 \oplus x_6,$$

$$p_6 = x_1 \oplus x_2 \oplus x_3 \oplus x_4 \oplus x_5 \oplus x_6$$

4 (9,4)垂直水平パリティ符号および(12,6)垂直水平パリティ符号の情報速度を求めよ。

情報速度 =  $\frac{\text{情報ビット数}}{\text{符号ビット数}}$  である。

よって、(9,4)垂直水平パリティ符号の情報速度は、

$$\frac{4}{9} \approx 0.444 \quad [\text{bit} / \text{通信路記号}]$$

である。

また、(12,6)垂直水平パリティ符号の情報速度は、

$$\frac{6}{12} = 0.5 \quad [\text{bit} / \text{通信路記号}]$$

である。

## II ハミング符号

(7,4)のハミング符号を以下のように表す。

$$\mathbf{w} = (\mathbf{x}, \mathbf{p}) = (x_1, x_2, x_3, x_4, p_1, p_2, p_3)$$

ここで、 $\mathbf{x} = (x_1, x_2, x_3, x_4)$  は情報ビットであり、 $\mathbf{p} = (p_1, p_2, p_3)$  は冗長ビットである。各冗長ビットは次式で定義する。

$$p_1 = x_1 \oplus x_2 \oplus x_3, \quad p_2 = x_2 \oplus x_3 \oplus x_4, \quad p_3 = x_1 \oplus x_2 \oplus x_4$$

このとき、以下の問いに答えよ。

1 次の系列  $x_i$  を情報ビットとする (7,4) ハミング符号語  $w_i$  および復号領域  $\Omega_i$  を求めよ。

各冗長ビットを定義式により計算し符号語を求める。

また、高々1ビット誤る場合の誤りベクトルを以下に列挙する。

$$\begin{array}{l|ccccccc} e_1 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ e_2 & 0 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ e_3 & 0 & 0 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ e_4 & 0 & 0 & 0 & 1 & 0 & 0 & 0 \\ e_5 & 0 & 0 & 0 & 0 & 1 & 0 & 0 \\ e_6 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 1 & 0 \\ e_7 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 1 \\ e_0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \end{array}$$

このとき、復号領域は、 $\Omega_1 = \{w_i \oplus e_j \mid 0 \leq j \leq 7\}$  で求められる。

このとき、復号領域は、 $\Omega_2 = \{w_i \oplus e_j \mid 0 \leq j \leq 8\}$  で求められる。

(1)  $x_1 = 0000$

$w_1 = (x_1^1, x_2^1, x_3^1, x_4^1, p_1^1, p_2^1, p_3^1)$  とする。

$$p_1^1 = 0 \oplus 0 \oplus 0 = 0,$$

$$p_2^1 = 0 \oplus 0 \oplus 0 = 0,$$

$$p_3^1 = 0 \oplus 0 \oplus 0 = 0$$

$$\therefore w_1 = 0000\ 000$$

$\Omega_1$  は次のように求められる。

$$\begin{aligned} \Omega_1 &= \{0000\ 000 \oplus e_j \mid 0 \leq j \leq 7\} \\ &= \left\{ \begin{array}{l} 0000\ 000, 1000\ 000, 0100\ 000, 0010\ 000, 0001\ 000, \\ 0000\ 100, 0000\ 010, 0000\ 001 \end{array} \right\} \end{aligned}$$

(2)  $x_2 = 1000$

$w_2 = (x_1^2, x_2^2, x_3^2, x_4^2, p_1^2, p_2^2, p_3^2)$  とする。

$$\begin{aligned}
p_1^2 &= 1 \oplus 0 \oplus 0 = 1, \\
p_2^2 &= 0 \oplus 0 \oplus 0 = 0, \\
p_3^2 &= 1 \oplus 0 \oplus 0 = 1 \\
\therefore w_2 &= 1000101
\end{aligned}$$

$\Omega_2$  は次のように求められる。

$$\begin{aligned}
\Omega_2 &= \{1000101 \oplus e_j \mid 0 \leq j \leq 7\} \\
&= \left\{ \begin{array}{l} 1000101, 0000101, 1100101, 1010101, 1001101, \\ 1000001, 1000111, 1000100 \end{array} \right\}
\end{aligned}$$

$$(3) \quad x_3 = 1001$$

$w_3 = (x_1^3, x_2^3, x_3^3, x_4^3, p_1^3, p_2^3, p_3^3)$  とする。

$$\begin{aligned}
p_1^3 &= 1 \oplus 0 \oplus 0 = 1, \\
p_2^3 &= 0 \oplus 0 \oplus 1 = 1, \\
p_3^3 &= 1 \oplus 0 \oplus 1 = 0 \\
\therefore w_3 &= 1001110
\end{aligned}$$

$\Omega_3$  は次のように求められる。

$$\begin{aligned}
\Omega_3 &= \{1001110 \oplus e_j \mid 0 \leq j \leq 7\} \\
&= \left\{ \begin{array}{l} 1001110, 0001110, 1101110, 1011110, 1000110, \\ 1001010, 1001100, 1001111 \end{array} \right\}
\end{aligned}$$

2 次の系列  $y_j$ ,  $4 \leq j \leq 6$  は、(7,4)ハミング符号として送信された符号語の受信符号語  $y_j$  である。各受信符号  $y_j$  に対して誤りを訂正し、正しい送信符号語  $w_i$  を求めよ。

シンドローム  $s = (s_1, s_2, s_3)$  を求め、誤りベクトル  $e = (e_1, e_2, e_3, e_4, e_5, e_6, e_7)$  を特定する。

各シンドロームは、ハミング符号の定義より、次式で求められる。

$$\begin{aligned}
s_1 &= y_1 \oplus y_2 \oplus y_3 \oplus y_5 \\
s_2 &= y_2 \oplus y_3 \oplus y_4 \oplus y_6 \\
s_3 &= y_1 \oplus y_2 \oplus y_4 \oplus y_7
\end{aligned}$$

また、誤りベクトルとシンドロームの対応表は次のようになる。

$e_1$	$e_2$	$e_3$	$e_4$	$e_5$	$e_6$	$e_7$	$s_1$	$s_2$	$s_3$
1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
0	1	0	0	0	0	0	1	1	1
0	0	1	0	0	0	0	1	1	0
0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4)  $y_4 = 0101010$

$y_4 = (y_1^4, y_2^4, y_3^4, y_4^4, y_5^4, y_6^4, y_7^4)$  とし、シンドロームを  $s_4 = (s_1^4, s_2^4, s_3^4)$  とし、誤りベクトルを  $e^4 = (e_1^4, e_2^4, e_3^4, e_4^4, e_5^4, e_6^4, e_7^4)$  とする。

$$s_1^4 = 0 \oplus 1 \oplus 0 \oplus 0 = 1,$$

$$s_2^4 = 1 \oplus 0 \oplus 1 \oplus 1 = 1,$$

$$s_3^4 = 0 \oplus 1 \oplus 1 \oplus 0 = 0$$

よって、表より誤りベクトルは  $e^4 = e_3 = 0010000$  と特定できる。

$$\therefore w_4 = y_4 \oplus e^4 = 0101010 \oplus 0010000 = 0111010$$

よって、 $w_4 = 0111010$ ,  $x_4 = 0111$  である。

(5)  $y_5 = 0101100$

$y_5 = (y_1^5, y_2^5, y_3^5, y_4^5, y_5^5, y_6^5, y_7^5)$  とし、シンドロームを  $s_5 = (s_1^5, s_2^5, s_3^5)$  とし、誤りベクトルを  $e^5 = (e_1^5, e_2^5, e_3^5, e_4^5, e_5^5, e_6^5, e_7^5)$  とする。

$$s_1^5 = 0 \oplus 1 \oplus 0 \oplus 1 = 0,$$

$$s_2^5 = 1 \oplus 0 \oplus 1 \oplus 0 = 0,$$

$$s_3^5 = 0 \oplus 1 \oplus 1 \oplus 0 = 0$$

よって、表より誤りベクトルは  $e^5 = e_0 = 0000000$  と特定できる。

$$\therefore w_5 = y_5 \oplus e^5 = 0101100 \oplus 0000000 = 0101100$$

よって、 $w_5 = 0101100$ ,  $x_5 = 0101$  である。

(6)  $y_6 = 1101000$

$y_6 = (y_1^6, y_2^6, y_3^6, y_4^6, y_5^6, y_6^6, y_7^6)$  とし、シンドロームを  $s_6 = (s_1^6, s_2^6, s_3^6)$  とし、誤りベクトルを  $e^6 = (e_1^6, e_2^6, e_3^6, e_4^6, e_5^6, e_6^6, e_7^6)$  とする。

$$s_1^6 = 1 \oplus 1 \oplus 0 \oplus 0 = 0,$$

$$s_2^6 = 1 \oplus 0 \oplus 1 \oplus 0 = 0,$$

$$s_3^6 = 1 \oplus 1 \oplus 1 \oplus 0 = 1$$

よって、表より誤りベクトルは  $e^6 = e_7 = 0000\ 001$  と特定できる。

$$\therefore w_6 = y_6 \oplus e^6 = 1101\ 000 \oplus 0000\ 001 = 1101\ 001$$

よって、 $w_6 = 1101\ 001$ ,  $x_6 = 1101$  である。

3. (15,11) のハミング符号を定義せよ。

ヒント：誤りベクトルを考察し、シンドロームの定義式を求め、冗長ビットの定義式を導く。

(15,11) のハミング符号を以下のように表す。

$$w = (x, p)$$

$$= (x_1, x_2, x_3, x_4, x_5, x_6, x_7, x_8, x_9, x_{10}, x_{11}, p_1, p_2, p_3, p_4)$$

このとき、誤りベクトル  $e = (e_1, e_2, e_3, e_4, e_5, e_6, e_7, e_8, e_9, e_{10}, e_{11}, e_{12}, e_{13}, e_{14}, e_{15})$  とシンドローム  $s = (s_1, s_2, s_3, s_4)$  の対応関係を次の表のように定義する。(まず、検査ビットと誤りベクトルの後半部分に対応させる。次に、残りの2進数を重複することなく、かつあますことなく割り当てる。なお、この対応関係は一通りではなく、多数の定義が可能である。)

$e_1$	$e_2$	$e_3$	$e_4$	$e_5$	$e_6$	$e_7$	$e_8$	$e_9$	$e_{10}$	$e_{11}$	$e_{12}$	$e_{13}$	$e_{14}$	$e_{15}$	$s_1$	$s_2$	$s_3$	$s_4$
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
0	1	0												0	1	1	1	0
0	0	1	0											0	1	1	0	1
0		0	1	0										0	1	0	1	1
0			0	1	0									0	0	1	1	1
0				0	1	0								0	1	1	0	0
0					0	1	0							0	1	0	1	0
0						0	1	0						0	0	1	1	0
0							0	1	0					0	1	0	0	1
0								0	1	0				0	0	1	0	1
0									0	1	0			0	0	0	1	1
0										0	1	0		0	1	0	0	0
0											0	1	0	0	0	1	0	0
0												0	1	0	0	0	1	0
0													0	1	0	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

この一覧表より、シンドロームは次のように定義される。

$$s_1 = e_1 \oplus e_2 \oplus e_3 \oplus e_4 \oplus e_6 \oplus e_7 \oplus e_9 \oplus e_{12},$$

$$s_2 = e_1 \oplus e_2 \oplus e_3 \oplus e_5 \oplus e_6 \oplus e_8 \oplus e_{10} \oplus e_{13},$$

$$s_3 = e_1 \oplus e_2 \oplus e_4 \oplus e_5 \oplus e_7 \oplus e_8 \oplus e_{11} \oplus e_{14},$$

$$s_4 = e_1 \oplus e_3 \oplus e_4 \oplus e_5 \oplus e_9 \oplus e_{10} \oplus e_{11} \oplus e_{15}$$

これより、以下のように検査ビットを定義できる。

$$p_1 = x_1 \oplus x_2 \oplus x_3 \oplus x_4 \oplus x_6 \oplus x_7 \oplus x_9,$$

$$p_2 = x_1 \oplus x_2 \oplus x_3 \oplus x_5 \oplus x_6 \oplus x_8 \oplus x_{10},$$

$$p_3 = x_1 \oplus x_2 \oplus x_4 \oplus x_5 \oplus x_7 \oplus x_8 \oplus x_{11},$$

$$p_4 = x_1 \oplus x_3 \oplus x_4 \oplus x_5 \oplus x_9 \oplus x_{10} \oplus x_{11}$$

4 (7,4)ハミング符号および(15,11)ハミング符号の情報速度を求めよ。

情報速度 =  $\frac{\text{情報ビット数}}{\text{符号ビット数}}$  である。

よって、(7,4)ハミング符号の情報速度は、

$$\frac{4}{7} \approx 0.571 \quad [\text{bit} / \text{通信路記号}]$$

である。

また、(15,11)パリティ符号の情報速度は、

$$\frac{11}{15} \approx 0.733 \quad [\text{bit} / \text{通信路記号}]$$

である。